



令和元年 6 月 28 日

生命倫理 公開セミナー 『出生前診断 ～新型出生前検査の実施拡大は？～』を開催

岡山大学大学院保健学研究科は 7 月 12 日、公開セミナー『出生前診断 ～新型出生前検査の実施拡大は？～』を本学鹿田キャンパス臨床第一講義室で開催します。

2013 年、日本において新型の出生前診断（NIPT）が始まりました。母体からの採血のみで胎児の染色体異常を簡単にスクリーニングできるため、安易に検査を受けた結果、「陽性」となった妊婦や家族が戸惑うこともあります。また、中絶となってしまった後にも「辛さ」を持ち続けるカップルもあります。しかし、高齢妊婦の増加とともに希望者は増加し続けており、今後、実施する施設の拡大が予定されています。これに対して、「妊婦の利便性が向上する」と考える人々もいますが、「生命の選択が容易に行われてしまう」という危惧を持つ人々もいます。

本セミナーでは、新型出生前検査の実施拡大に対する「妊婦の思い」「産科スタッフの思い」についての調査結果を公表し、出生前診断の現場の実態を明らかにします。また、現在、専門家による体制を整えた大学病院において、新型出生前検査を希望して集まる多くの妊婦とその夫、そして選別される命を見てきた「臨床遺伝専門医の思い」を伝えるとともに、新型出生前検査の拡大についての「ダウン症のお子さんを育てる母親の思い」をお話しします。

皆さんは何を感じるでしょうか。最後に会場全体で統合討論を行います。

<開催概要>

1. 名 称 公開セミナー 生と死の倫理
『出生前診断 ～新型出生前検査の実施拡大は？～』
2. 日 時 2019 年 7 月 12 日（金） 13:30～16:00
3. 場 所 岡山大学鹿田キャンパス臨床講義棟臨床第 1 講義室（岡山市北区鹿田町 2-5-1）
4. 対 象 者 どなたでも参加いただけます。
5. 申 込 方 法 事前申し込み不要。
当日ご参加いただけます。
6. 参 加 費 用 無料
※車でお越しの方には、
駐車無料券をお渡しします。

<お問い合わせ>

岡山大学大学院保健学研究科
「妊娠中からの母子支援」即戦力育成プログラム事務局
(電話番号・FAX) 086-235-6538



岡山大学は、国連の「持続可能な開発目標（SDGs）」を支援しています。